

統計委員会 国民生活・社会統計ワーキンググループ会合 2017年7月21日  
ヒアリング資料（文責；橋本英樹 東京大学大学院医学系研究科・教授）

## 社会保障関連統計について

目的；

- ・ 社会保障（医療・介護・年金）各制度の生産性、生産効率性の推計
- ・ 社会保障各制度の公平性検証、貧困・健康格差ほかモニタリング
- ・ 各種制度変更のインパクト推計と将来予測シミュレーション

### 0) コメントする統計

- (ア)人口統計： 人口動態統計
- (イ)世帯面統計： 国民生活基礎調査・国民健康栄養調査・所得再分配調査、および縦断統計（出生児・中高年）
- (ウ)施設面統計： 医療施設・患者調査、介護サービス施設・事業所調査＋介護給付費等実態調査
- (エ)業務データ 全国（医療）レセプトデータ

### 1) 統計調査のサンプリング・デザイン・収集方法について

サンプリング＝国民生活基礎調査の大調査年と小調査年の違いと全国集計値の整合性問題、国民生活基礎調査と国民健康栄養調査の大調査年の違いによる突合上の問題、国民生活基礎調査介護票と介護給付費等実態調査との食い違い

デザイン＝縦断調査の質問項目の設定（パネルデータとしての利用価値）  
国民生活基礎調査所得票全数化のための検証実験の必要性  
少なくとも都道府県レベルでの表章の必要性

収集方法＝特に世帯面統計での紙ベース以外の方法（e. g. Web ベースの CAPI）と比較検証実験の必要性、調査員トレーニングの課題（回収率・データの質担保・向上、CAPI などの利用可能性）

### 2) 統計データの内容について（特にデータリンケージ問題）

#### 国民生活基礎調査

社会保障給付（児童手当など、資格証明などの保険加入状況、医療利用情報の入退院分離、医療費自己負担割合）  
生活習慣や健康状態の測定（国民健康栄養調査への移行に伴う集計数低下（都道府県別表章ほかの問題）（ex-smoker 状況に関する継続性・比較可能性問題）（見守り要否・介護認定有無・ADL などの測定の整合

性＝健康寿命測定の際の課題）（疾病罹患＝定期的受診がない場合の問題）

縦断調査（出生児）

疾病ごと医療受診の有無（疾病状況の有無とアクセスの掛け合わせを  
見ている現状→喘息やアトピーなどは ISAAC などを利用しては？  
アクセスの問題などを検討しにくい。

人口動態統計と他統計とのリンケージ問題

医療レセプト、介護給付費等実態調査とのリンケージ

国勢調査（生年月（日））とのリンケージによる学歴情報などの利用

国民生活基礎調査・国民健康栄養調査とのリンケージ

医療と介護レセプトデータのリンケージ問題＝高確法対応

政府統計と学会ベースDBとのリンケージ（DPCとNCD）とのリンケージ

地域医療構想・地域包括ケアの生産性計算上必要

個人情報保護法改正との関係

### 3) 統計データの利用促進について

33条規定・審査については肯定的評価

厚労省（総務省と比較）での対応の違い；統一化・簡素化の必要性

省庁横断的対応（ワンストップ窓口）について

申請・利用手続きの啓もうセミナーなどの実施